

日本工学院八王子専門学校	開講年度	2019年度（平成31年度）	科目名	臨床医学各論4
<b>科目基礎情報</b>				
開設学科	鍼灸科	コース名		開設期 後期
対象年次	2年次	科目区分	必修	時間数 30時間
単位数	2単位	授業形態	講義	
教科書/教材	臨床医学各論（第2版） 医歯薬出版社			
<b>担当教員情報</b>				
担当教員	大下 裕之	実務経験の有無・職種	有・鍼灸師	
<b>学習目的</b>				
臨床医学各論4では、臨床活動をおこなう上で必要な知識である「疾患」に関する知識を、現代医学的な観点から理解する事を目的とする授業である。これは病態の把握や鍼灸治療の適応不適応の鑑別は勿論、予後の推察や他の医療機関との情報交換を行う際には必要なものであり、鍼灸臨床で診る機会が少ない分野の疾患も含め、広く疾患に関する知識を習得することがこれからの鍼灸師に求められている。				
<b>到達目標</b>				
「腎・泌尿器疾患」「代謝疾患」「膠原病」「内分泌疾患」についての知識を理解する事を目的とする。具体的には各疾患について、性差や好発年齢などの疫学、疾患を引き起こす原因、それが加わることにより起こる病的変化とそれにより出現する臨床症状、単純X線やCT検査などの画像診断や血液所見などの診察所見、薬物療法や外科的手術などの治療法、その後疾患がどのように変化していくのかを推察する予後などについて学習する。				
<b>教育方法等</b>				
授業概要	本講義では腎・泌尿器疾患、代謝疾患、膠原病、内分泌疾患について疫学、成因、症状、検査所見、治療、予後について学習するが、それらを系統立てて考えず、用語を暗記してしまう事が多い。そのためどのような機序で症状や所見が出現したのかという病態把握をしっかりと理解することに重点をおいた授業をしていく。またイラストや写真などを多く用いることでより理解度を深めながら学習していく。			
注意点	授業日数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。講義時間に無連絡で20分以上遅れた場合、受講はできるが出席の扱いをしない。明確な理由が無い早退は出席したとは認めない場合がある。課題は、本科の規則に従った形式で提出する。特定の指示が有る場合を除いて、手書きでの作成を原則とする。			
評価方法	種別	割合	備考	
	試験・課題	100%	期末試験	
	小テスト	0%		
	レポート	0%		
	成果発表 (口頭・実技)	0%		
	平常点	0%		
<b>授業計画（1回～15回）</b>				
回	授業内容	各回の到達目標		
1回	尿路感染症	尿路感染症の疫学、成因、症状、所見、治療、予後などについて理解する		
2回	尿路結石	尿路結石の疫学、成因、症状、所見、治療、予後などについて理解する		
3回	前立腺肥大・前立腺癌	前立腺肥大、前立腺癌の疫学、成因、症状、所見、治療、予後などについて理解する		
4回	糖尿病	糖尿病の疫学、成因、症状、所見、治療、予後などについて理解する		
5回	糖尿病	糖尿病の疫学、成因、症状、所見、治療、予後などについて理解する		
6回	脂質異常症・高尿酸血症	脂質異常症、高尿酸血症の疫学、成因、症状、所見、治療、予後などについて理解する		
7回	関節リウマチ	関節リウマチの疫学、成因、症状、所見、治療、予後などについて理解する		
8回	全身性エリテマトーデス	全身性エリテマトーデスの疫学、成因、症状、所見、治療、予後などについて理解する		
9回	全身性硬化症	全身性硬化症の疫学、成因、症状、所見、治療、予後などについて理解する		
10回	多発性筋炎・ベーチェット病・シェーグレン症候群・リウマチ熱・多発動脈炎	その他の膠原病の疫学、成因、症状、所見、治療、予後などについて理解する		
11回	下垂体疾患	下垂体疾患の疫学、成因、症状、所見、治療、予後などについて理解する		
12回	甲状腺疾患	甲状腺疾患の疫学、成因、症状、所見、治療、予後などについて理解する		
13回	副腎皮質疾患	副腎皮質疾患の疫学、成因、症状、所見、治療、予後などについて理解する		
14回	副腎髄質疾患	副腎髄質疾患の疫学、成因、症状、所見、治療、予後などについて理解する		
15回	年間のまとめ	総合的な理解を深める		